

## コンパクトエミュレータM38000T2-CPE サポートMCU追加のお知らせ

740ファミリ用コンパクトエミュレータ M38000T2-CPE がサポートするMCU を追加しました。

### 1. 内容

以下の表のMCUグループを新たにサポートします。

追加MCUグループ用のエミュレータMCUとMCUファイルも以下に示します。

MCUグループ	エミュレータMCU *1	MCUファイル
3826	M38267RLFS	M38000.MCU *2
3885	M38859RLFS	M38000.MCU *2
3886	M38867RFS	M38000.MCU *2
38K2	M38K29RFS	M38000.MCU *2
38C8	M38C89RLFS	M38000.MCU *2
7516	M37516RSS	M37516.MCU *3
7517	M37517RLSS	M37517.MCU *3
7560	M37560RLFS	M37560.MCU *3
M37151	M37151ERSS	M37151.MCU *3
M37161	M37161ERSS	M37161.MCU *3
M37221	M37221EARSS	M37221.MCU *3
M37225	M37225ERSS	M37225.MCU *3
M37280	M37280ERSS	M37280.MCU *3

注意：

\*1 エミュレータMCUは別売りです。

\*2 M38000T2-CPEに同梱のエミュレータデバッグM3T-PD38Mに含まれています。

\*3 mcu\_files.zip (2.41 KB)をダウンロードしてご使用ください。

上記のエミュレータMCUを使用した場合のM38000T2-CPEの動作保証条件はこちらを参照ください。

その他のエミュレータMCUを使用した場合のM38000T2-CPEの動作保証条件はM38000T2-CPEデータシートを参照ください。

## 2. ファームウェアのアップデート

ファームウェアM38000A1.C0 のバージョンがVer.1.03.00未満の場合は ファームウェアをアップデートしてください。ファームウェアのバージョンは、M3T-PD38Mを起動し、メニューから"HELP"→"About"を選択すると表示されます。(最新のM3T-PD38MはVer.1.02.00がインストールされます)。

以下の手順でアップデートできます。

- (1) ファームウェアファイルfirm.exe (163 KB)をダウンロードする。  
※firm.exeにはM37150, M37160, M37281用のMCUファイルも含まれますが、これは必要に応じてご使用ください。
- (2) firm.exeを解凍して、Readme\_j.txtファイルの手順に従いファームウェアをアップデートする。

## 3. 関連ツールニュース

以下のツールニュースでもM38000T2-CPEのサポートMCU追加情報をご案内しておりますのでご参照ください。

- 3850, 3822, 38C2, 38K0グループMCU追加情報  
2004年1月16日発行 RENESAS TOOL NEWS "M38000T2-CPE サポートMCU追加のお知らせ"
- 38C1, 7540グループMCU追加情報  
2004年3月1日発行 RENESAS TOOL NEWS "M38000T2-CPE サポートMCU追加のお知らせ"
- 38C5グループMCU追加情報  
2004年3月16日発行 RENESAS TOOL NEWS "M38000T2-CPE サポートMCU追加のお知らせ"
- M37150, M37160, M37281グループMCU追加情報  
2004年12月1日発行 RENESAS TOOL NEWS "M38000T2-CPE サポートMCU追加のお知らせ"
- 3858, 7545グループMCU追加情報  
2005年5月16日発行 RENESAS TOOL NEWS "M38000T2-CPE サポートMCU追加のお知らせ"

**【免責事項】**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.